

ブルガリアの巨匠に接して

第3回洛陽市技術研修生研修先
小土井 洋 二
(傑創美堂代表取締役)

ブルガリアの首都ソフィアはヨーロッパに於ける最も古い都市の一つで、約5千年の歴史をもっています。その永い歴史の間に地名も何度か変わったわけですが、ソフィアとなったのは1878年トルコから解放された時に、六世紀に建てられた教会のセントソフィアからとったものといわれています。ソフィアはまわりを山々に囲まれた盆地の中にあつて、海拔550m、市のすぐ南には美しいピドゥシャ山2290mが聳え、自然の美に恵まれ気候温暖な景勝の地です。重要な商業交通の要所であつたため幾世紀にわたり侵略され衰微したのですが、今や政治・経済・文化の中心となり、人口約120万の近代都市に変遷しました。歴史的文化的記念建造物と共に数多くの公園や並木路をもっているところからガーデンシティとも呼ばれてもいます。幾度旅しても心残りのするところですが、たまたま今回宿泊しましたホテルに飾つてあつた一枚の絵

が目にとまり、いたく感銘。その色調は魔術師のなせるものかに見え、画面に広がる豊かな作風にしばし茫然とし、完全な虜となりました。早速作者を調べましたところ、印象派でブルガリアの名誉画家ボリスネノフ巨匠であることを知り、人伝てで紹介して下さる人を探し、やつの想いでお会いすることができました。今年72才になられる方ですが、一見素朴で服装もかまわず、田舎の親父さんと思えるような、それで眼は鋭い人でした。初めての私を心よく受け入れてくださり、素人の私に懇切に話して下さるあたり、絵から想像していた人物に一際尊敬の念をいただきました。滞在中3度もお会いし、お別れの折には近い将来来日されるようお招き申しましたところ、御快諾下さいました。再会の日を楽しみに、巨匠の絵を毎日眺めている今日この頃です。



ボリスネノフ氏と(左側が作者)

※ブルガリア版画展はP19参照

極地紛争、南北問題、民族対立、民主化政策、ポーダレス経済等、相変わらず不安定な世界情勢の中で、多くの人々が心のふれあう草の根レベルの国際交流を地道に続けておられます。そこで、こうした皆さんに日頃の活動ぶりについて投稿していただきました。

我が街・伊島町の国際交流

会員 小路 広 史
(伊島町内会副会長)

去年、中国とアメリカの友人たちが伊島町にやって来た。町内会では早速歓迎行事を開いて和やかな国際交流を行ない、また、この交流行事を記念して町内会広報紙『いしま』の国際交流特集号を発行して全町民に報道した。

7月に、サンドラ・メイさんを招待。(サンノゼ交換学生で当町原田さん宅に滞在した)。

婦人部では、メイさんと天ぷらや寿司などを作り、にぎやかに天ぷらパーティーを開き、また、子供部は『七夕



(左から廖, 戴, 楊の各氏)



まつり』に招き、笹竹に短冊を付け、アメリカについて子供たちと話し合ったり楽しいひとときを過ごした。

10月には、中国人留学生の戴江涛さん(洛陽市政府の載保安氏の子息で岡山理科大学留学) 楊寧輝女史(武漢市、岡山ビジネス情報学院留学) 廖炎さん(南昌市, RSKで研修中) が私の紹介で当町の秋祭りに参加した。三人は揃いのハッピーに鉢巻き姿で、みんなといつしよにだんじりを引き、神社へ参拝し、歓迎会では上手な日本語で談笑し、愉快的日中交歓を行った。

後日、楊女史とメイさんから珍しい体験と伊島町の温かい心づくしに対して礼状が届いた。当町の高崎会長は今後も交流を進めて国際理解を深めたいと語っている。



(右側がサンドラ・メイさん)



ふ

れ

あ

い



▲コスタリカ次期副大統領来岡 (2.3.19)

外務省「オピニオンリーダー」招へい事業により来日中のヘルマン・セラノ・ピント夫妻(現コスタリカ副大統領)が岡山を訪問。瀬戸大橋、岡山城等の視察をしたほか、後楽園では艶やかな振り袖姿の女性にうっとり。一緒に記念撮影をするなど、穏やかな早春の一日を楽しんだ。



▲サンノゼ交換学生元気に活躍 (2.8~)

33回目の派遣交換学生の藤本敦子さん(写真右から3番目)と長原博子さん(写真左から2番目)は、サンノゼ市民の家庭で生活しながらサンノゼ州立大学で元気に勉強中。サンノゼ到着当初から、姉妹都市サンノゼ親善訪問団の通訳など、親善大使として大活躍。写真は友好団体関係者等と。



▲サンノゼ芸術・文化の祭典をPR (2.4.21~25)

8月に開催される芸術・文化の祭典「サンノゼ・ニューワールド・フェスティバル」実行委員長のジム・リーパー氏(サンノゼ市職員)と姉妹都市交流団体パシフィック・ネイバース理事トーマス・スタッツマン氏が来岡。市長表敬訪問(写真)、岡山の芸術・文化の視察等、精力的に駆け回った。



▲生きた英語教えます (2.8~)

自治・外務・文部省による語学指導等を行う外国青年招致事業により、英語指導助手3人が岡山市内の中学校等で語学指導中。コリン・デイビッド・クロスリー夫妻は前年度に続いて2年目で、ロバータ・スーザン・カスパーさん(サンノゼ出身)は初めての来岡。写真は市長との懇談風景。



▲柔道を通じて交流を深めよう (2.6.1~3)

アメリカ柔道の先駆者ヨシ・ウチダ氏(昭和61年11月、米国柔道振興の功により、「勲三等瑞宝章」を受章)を団長とするカリフォルニア州立大学柔道チームが来岡。岡山大学柔道部との交流試合や交歓会等を通して友好親善を深めた。写真は市長表敬訪問時。



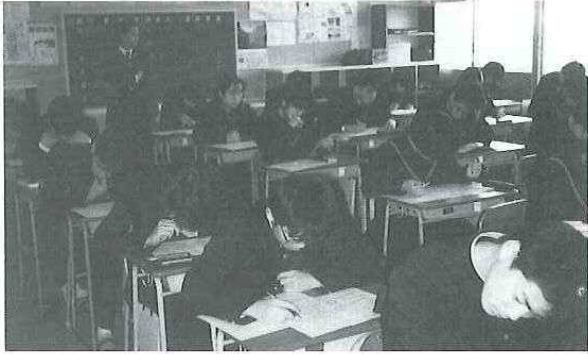
▲久し振りの母娘対面 (2.9.21)

洛陽市出身留学生、王祖茜さんの実母、楊美清さん(洛陽医専付属病院皮膚科主任医師)が皮膚科国際学会に出席のため来岡。第2の故郷で母娘水入らずの一時を過ごした。王さんは、今春、岡山大学大学院を卒業し、岡山市内の企業に就職。写真中央は招へい者の浅野市立市民病院長。

ト ピ ツ ク ス



▲11月9日は『119番の日』(2.11.9)
ペギー・ヘンダーソンさん(昭和62年度受入れサンノゼ交換学生)は現在、岡山県国際交流員として活躍中。この日は、岡山市消防局消防情報通信センターの「一日通信指令官」に就任。制服姿も凛々しく、『秋の火災予防運動防火パレード』などに参加して、市民に防災を呼びかけた。



▲岡山頑張れ! ~サンノゼ数学大会~ (2.12.21)
昭和44年に始まった『岡山・サンノゼ姉妹都市中学生親善交換数学大会』は今回で23回目を迎え、市立芳田中学校の生徒664人が20問の数学問題に挑戦。後日、同一問題にチャレンジしたサンノゼ側と成績を交換し、健闘を称え合い、友情を深める予定。



▲友情のピンポン外交再び(2.11.28~29)
中国北京市で『日中友好都市卓球カーニバル』が開催され、岡山から岸本優氏(岡山県日中友好協会事務局長)を団長とする一行4人が参加。日中両国76チームが出場する中、岡山チームは洛陽チームとペアを組んで大奮闘。友好の絆がますます強まった。



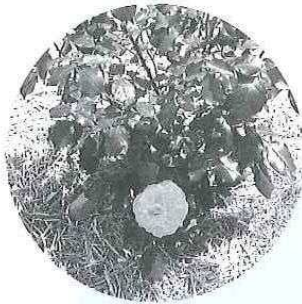
▲サンホセ姉妹縁組の夕べ(3.1.26)
岡山・サンホセ両市の姉妹都市縁組22周年を記念して、岡山サンホセ交流協会主催『サンホセ姉妹縁組の夕べ』が市内の喫茶店サンホセで開催された。サンホセに所縁のある人々が和やかに懇談する会場では『サンホセ市展』も開かれ、サンホセの民芸品や写真が展示され、雰囲気盛り上げた。



▲ブルガリア芸術の薫りを(2.12.4~27)
小土井洋二氏(懶創美堂社長)がブルガリア訪問時に購入された版画24点を紹介する『ブルガリア版画展』を市立中央図書館で開催。同時に姉妹都市プロブディフ市から寄贈いただいた特産品や記念品(中央図書館所蔵)もあわせて展示し、会場はブルガリアムード一色に。



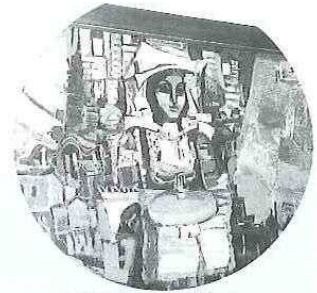
▲岡山での再会に感無量(3.3.22)
昭和63年4月から3年間サンホセ市にある日本大使館付属日本人学校長として赴任し、両国友好のために活躍された山田羊平氏(市立興除小学校元教頭)が帰国。岡山滞在中のサンホセ市技術研修生はサンホセ市で同氏に日本語会話の指導を受けたことがあり、感激の再会となった。



サンノゼ市花オレー・ローズ
〔西幸西〕
市内西幸西在住の岸野一征氏
（岡山ばら会副会長）が自宅
庭園で増殖中。



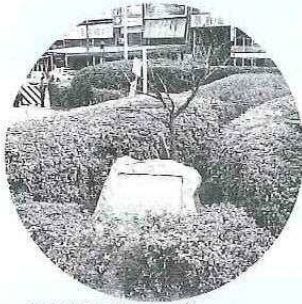
唐三彩馬像
〔大供/市庁舎1階ホール〕
昭和57年、友好都市縁組締結
を記念して洛陽市が岡山市に
寄贈。



プロブティブ絵画
〔小橋町/市民文化ホール〕
昭和50年、同市「文化交流使
節」として来岡中のディミタ
ール・キロフ氏が製作。



洛陽牡丹〔足守/近水園〕
昭和57・58年、洛陽市から寄
贈された洛陽牡丹等を公園内
に植栽。



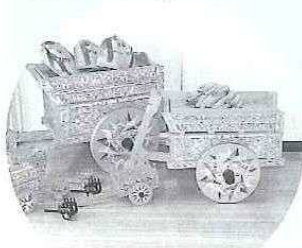
姉妹都市表示石碑
〔JR岡山駅前広場〕
昭和45年、都市名・国名・縁
組日・岡山市との距離を刻し
た万成石の標識を設置。



姉妹都市シンボル花
〔大供/市庁舎中庭〕
サンノゼ市花バラと洛陽牡丹
を植栽（現在バラは仮植えの
サッチャー種）。



牡丹仙女像
〔法界院/半田山植物園〕
日本生命が岡山市に寄贈した
仙女像（洛陽市で製作）を平
成2年に設置。



サンノゼ特産品
〔二日市/中央図書館〕
サンノゼ市関係者から寄贈い
ただいたカレータ（牛車）、人
形、装飾品等を収蔵。



市制100周年記念植樹
〔石鯛町/石山公園〕
平成元年、来岡中の姉妹・友
好都市市長らが岡山市木クロ
ガネモチ1本を植栽。

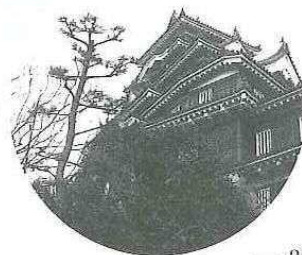
姉妹・友好都市にゆか
りのある記念樹・公園・
像・プレート等を探し
て市内を歩いてみまし
た。あなたも訪ねてみ
ませんか？
友情の種が巨木となり
大輪の花を咲かせるこ
とを願いつつ…。



洛陽牡丹
〔竹原/三徳園〕
平成元年、岡山県立青少年農
林文化センター三徳園に洛陽
牡丹1,000株を植栽。



サンノゼ電話
〔中山下/NTT岡山支店〕
昭和62年、米国/パシフィック・
ベル社の電話ボックス（電話
機はNTT製）を設置。



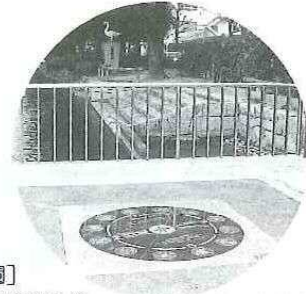
サンノゼ10周年植樹
〔丸の内/烏城公園〕
昭和42年、サンノゼ市との姉
妹縁組10周年を祝い、廊下門
下に松を記念植樹。



洛陽白馬寺梵鐘
〔南方／長泉寺〕
昭和62年、洛陽白馬寺から「日
中友好の鐘」として寄贈され
た梵鐘。

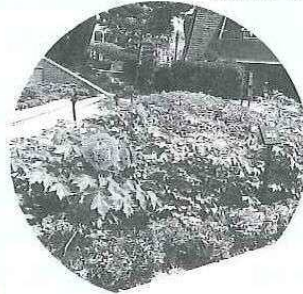


姉妹都市の森
〔丸の内／烏城公園〕
昭和50年代、姉妹都市からの
来訪者が来岡記念に表書院跡
地にクロガネモチ等を植樹。



姉妹・友好都市方位盤
〔田町／西川緑道公園〕
昭和62年、岡山せとうちライ
オンズクラブが岡山市に寄贈。

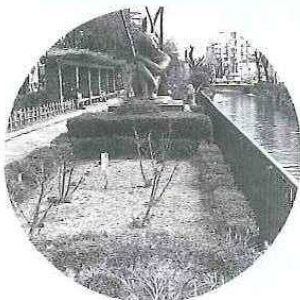
姉妹都市 友好都市 モニュメント



洛陽牡丹園
〔法界院／半田山植物園〕
両備バスが岡山市に寄贈した
洛陽牡丹1,000株を昭和63年
に植栽。



中国原産エンジュ苗木
〔西大寺一宮苗圃〕
平成2年、岡山市制100周年記
念に洛陽市が苗木100木を寄
贈。苗圃で育成中。

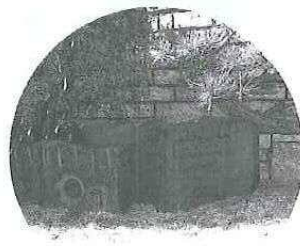
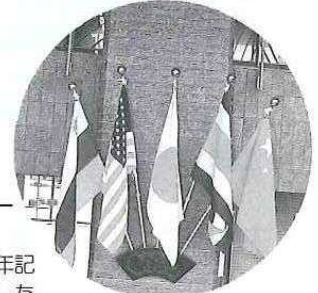


サンノゼ・バラ植樹
〔平和町／西川緑道公園〕
昭和61年、姉妹縁組30周年記
念で来岡中の訪問団が記念植
樹。植栽品種はピース。



唐三彩馬像
〔二日市／中央図書館2階〕
昭和62年、友好都市縁組5周
年を記念して、岡山県日中友
好協会が岡山市に寄贈した馬
像1基を設置。

姉妹都市シンボルコーナー
〔大供／市庁舎〕
サンノゼ市との縁組20周年記
念に中島プロペラが寄贈した
都市名プレートと国旗掲揚場。



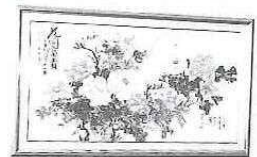
姉妹都市表示石碑
〔大供／市庁舎中庭〕
サンノゼ市との姉妹都市縁組
を契機に姉妹都市名を表示す
る石碑2基を設置。



カリフォルニア州木
〔丸の内／烏城公園〕
昭和32年、サンノゼ市との姉
妹縁組締結を記念して、州木
レッドウッドを植樹。



友好都市記念植樹
〔田町／西川緑道公園〕
昭和56年、友好縁組締結を記
念して、任普恩洛陽市長らが
市木クロガネモチ3本を植樹。



洛陽牡丹画
〔二日市／中央図書館〕
昭和63年、洛陽市栄誉証を受
賞した中村包行氏が岡山市に
寄贈した水彩画。

『ボランティア通訳実地研修会』を開催

～後楽園・岡山城のガイドはおまかせ～

本協議会では親善や友好活動をより円滑に進めるため「ボランティア通訳・翻訳登録制度」を設けています。

現在、95人が登録し、登録言語は英語はもちろん、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、エスペラント語、マレー語、ポルトガル語に及び、観光案内、パーティーや交流会での通訳、資料・手紙の翻訳等さまざまな分野で活躍しています。



研修中、抹茶でほっと一息

また、来岡外国人に岡山市民との交流を深め、日本の家庭生活を経験していただくため、「ホームステイ・ホームビジット引受家庭登録制度」を設けており、74家庭が登録しています。

こうした中、通訳ガイド技術の向上を目的に、昨年12月1日、『ボランティア通訳実地研修会』を開催しました。

今回も昨年度に引き続き、岡山市シルバー人材センター生きがい事業団観光ガイド班班長の桑島一男氏を講師に、後楽園・岡山城案内のノウハウを勉強しました。

寒風の中での研修でしたが、参加者11人は熱心にメモを取るなどして桑島氏の説明に聞き入っていました。

研修会終了後、岡山市公民館喫茶室で懇談し、活発な意見交換を行いました。

本協議会では今後もさまざまな研修会を企画したいと思っておりますので、皆様の御意見・御要望をお待ちしています。



後楽園にて（桑島氏と参加者）

★ ★ ★ 研修に参加して ★ ★ ★



はじめての研修会で

ボランティア通訳・翻訳登録者
(英語・スペイン語)

菊井洋美

今回はボランティア通訳として登録してまもない研修会だったので、少し戸惑いがありました。後楽園正面玄関に集合、女性の方が多く主婦・自営業・学生など、さまざまな職の方々が来られていました。小さい頃よく遊びに来たことのある後楽園ですが、その歴史など知る由もなく、今回改めて感動を覚えました。先生のお話では、同じ物でもどうすれば相手を楽しませることができるか、大学時代、京都に住んで外国人観光客に寺社案内をする機会が多かった私はなるほどその通りだと思いました。少しでも楽しい旅の思い出をと思うのは、日本人でも外国人でも同じことですね。



はじめての実地研修会

ボランティア通訳・翻訳登録者
(英語)

中本雅男

過去二年間の米国での生活から一転して岡山に居住、まず岡山を知らねばと桑島先生のお話を耳を傾けながら私は見なれたレキシントン周辺のサラブレッド飼育牧場で見渡す限りの緑の芝草を食む小馬たち、それに後楽園の綺麗に手入れされた芝生の庭園をダブらせていました。

彼等がもし訪れたとしたらここはさぞ狭隘なものと映るであろうが、キメ細かく配慮の行き届いた庭に白い鶴を配した、どこ迄も日本的なこのつつましい美しさは、彼等の目にどう映るであろうか。一言一句にこだわる同時通訳者のそれでなく、幅広い人格的な触れ合いの中で日本の良さを説明出来るボランティアであれば、訪れた人にも私達にも共に有意義な喜びであると感じました。

サンノゼ州立大ジャズダンス・エアロビクスチーム来岡

～岡山国際交流フェスティバル'90に参加～

『岡山国際交流フェスティバル'90』に参加するため、アネット・マクドナルド教授を団長とする「サンノゼ州立大ジャズダンス・エアロビクスチーム」一行9人が来岡しました。

昨年9月30日午後、加計記念体育館で開かれたエアロビクスとジャズダンスのレッスンと公演は、本協議会会員にも参加を呼び掛けました。会場は若者や家族連れで賑わい、本場アメリカの迫力ある踊りを楽しみました。

また、岡山滞在中は本協議会のホームステイ登録家庭宅にも滞在し、交流を深めました。



華麗なフィナーレ（ジャズダンス公演）



ジャズダンスの魅力

小川 順子
（公務員）

サンノゼの学生達のジャズダンスの公演に行きました。初めは、エアロビクスとジャズを学生さん達の指導のもと一緒に踊りました。いつもとは少し違った新しい感覚の振りつけと前に出て踊っている人と左右逆になるため、少々とまどいながらも楽しく参加しました。ジャズダンスの公演は、素晴らしいプロポーションでその上それぞれ個性のある人たちが、ミュージカルのようなものやストリートパフォーマンスのような踊りを次々と見せてくれ、アツという間の一時でした。なによりも一人一人の存在感がとても大きく、レベルの高さに圧倒されました。もっとPRして、広い場所で多くの人に見てもらえなかったのがもったいないような気がしました。でも、新しいジャズダンスの魅力にふれられて感激でした。

教育事情を熱心に視察

～洛陽外国語学院訪日視察団が来岡～

日本の教育制度や教育事情等について視察するため、昨年11月26日から12月6日にかけて、洛陽外国語学院の下（べん）鉄堅院長を団長とする視察団一行3人が来日されました。

滞在中、岡山大学をはじめ、京都大学・奈良女子大学・筑波研究学園都市等を訪問し、わが国の高等教育制度について研究されました。

今後、岡山・洛陽両市の教育交流の大きな窓口となることが期待されます。



た「洛陽牡丹園」では祖国に思いを馳せた。

◁熱帯植物にびっくり！半田山植物園では熱帯温室に繁茂する植物群に触れてみる。バナナや色鮮やかな熱帯花木に印象深げ。昨年開園し



◁初冬のカルチャーゾーン
岡山城・後楽園・オリエント美術館・県立美術館等を見学。教育関係者との協議の合間に初冬の文化ゾーン散策を楽しんだ。



▽豊富な蔵書に感心

市立中央図書館では教育者らしく熱心に質疑。一般図書が22万冊、児童図書が5.5万冊を超えるとの館員の説明に驚く。記録用ビデオで取材する団員も。

△「中国」って知ってる？視察時の厳しい姿勢も、子供たちとの話らいの際にはやさしいオジサンに。下団長の親しみやすく気さくな態度に子供たちも気軽に応える（中央図書館で）。



ホット・ミニ情報

- 「姉妹・友好都市紹介リーフレット兼入会申込書」を作成（平成2年3月、以下同じ。）
- 岡山市日中友好協会派遣「岡山市文化訪中団」が洛陽市を訪問（2.4.11）
- 「中国洛陽市人民政府訪日団」が経済交流の推進のため来岡（2.4.13）
- 本協議会会員でボランティア通訳登録者の谷川明義氏が研修のため訪米し、サンノゼ市を訪問（2.4.23）
- サンノゼ市長にオマール・ロハス・ドナト氏、市議会議長にフーベルト・メンデス氏が選出された（2.5.1）
- 岡山アスコン欄と洛陽市工具工場が合併会社「洛陽華中工具製造有限公司」設立に調印（2.5.8）
- 駐日アメリカ合衆国大阪神戸総領事のグレゴリー・L・ジョンソン氏夫妻が就任挨拶のため来岡（2.5.17）
- 洛陽市旅遊局長の張占奎氏らが友好交流促進のため来岡（2.5.1）
- サンノゼ市にある「日本町社」社長のヨシ・ウチダ氏と事務局長のグロリア・オット氏が来岡。商工会議所等、経済関係者と懇談（2.6.1）
- 蓮昌寺住職の八木慈氏がサンノゼ市にある仏教寺院の開山10周年記念法要に参加するため訪米（2.6.5）
- 「サンノゼ交換学生を囲む会」を開催。（2.6.17）
- 洛陽市長代理に魯茂昇氏が就任。（2.6.27）
- 平成2年度受入れサンノゼ交換学生2人が市立横井小学校を親善訪問（2.7.4）
- 駐日コスタリカ大使のアルフレド・J・オルトウーニョ氏が退任。公使のアナ・ルシア・ナサール・ソト氏（女性）が臨時代理大使に就任（2.7）
- ボーイスカウト岡山第一地区協議会一行6名がサンノゼ市を訪問。兄弟縁組締結のボーイスカウト・サンノゼ地区協議会関係者との親善を深めた（2.8）
- 駐日コスタリカ日本大使の野村忠策氏が飛行機事故で死亡。謹んで御冥福をお祈りいたします（2.8.17）
- 「岡山市少年サッカー友好訪中団」一行19人が第5回日中友好少年サッカー大会に参加するため洛陽市を訪問（2.8.21）
- 駐日ブルガリア大使のペーター・バシカロフ氏が退任。公使のスタニスラフ・パエフ氏が臨時代理大使に就任（2.8）
- 駐日コスタリカ大使にアントニオ・ロプレス・オレアムノ氏が就任（2.9）
- 洛陽市から岡山アスコン受入れの企業研修生2人が来岡（2.10.30）

- 日中合併企業「洛陽華中工具製造有限公司」社長らが視察のため来岡（2.10.30）
- 河南省人民対外友好協会会長の蔡流海氏らが友好促進のため来岡（2.11.5）
- サンノゼ市長のトム・マッケナリー氏に「岡山市国際親善特別名誉市民証」の称号を授与（2.12.6）
- サンノゼ市の姉妹都市交流推進団体/パシフィック・ネイバーズが「国際交流特別功労団体」に。本協議会から祝賀メッセージを送る（2.12）
- 岡山市民文化使節団（p.13参照）団員や本協議会関係者から提供された児童図書や小説等、全181点を洛陽市に寄贈（2.12.26）
- リンノゼ市長にスーザン・ハマー氏が就任（3.1）
- 姉妹・友好都市の言語（4カ国語）で岡山市政を紹介するパンフレットとビデオが完成。パンフレットは外国人来訪者や希望者に配布、ビデオは貸出可（3.2）



左から
英語
ブルガリア語
スペイン語
中国語

- サンノゼ市在住のロジャー・シュワレム氏が日本文化体験のため来岡。（3.2.22）
- 財岡山県国際交流協会が発足（3.3.1）
- 成田・サンノゼ直行便の就航を祝して、サンノゼ市長のスーザン・ハマー氏一行63名が来日（2.3.3）
- 財岡山県留学生交流推進協議会が発足（3.3.15）
- 「岡山市の国際交流を考える集い」が発足（3.3.26）

*** こちらデスク ***

本年は洛陽市との友好都市縁組10周年という大きな節目の年です。会員の皆様には逐次、祝賀行事や記念イベントについて御案内しますので、積極的な御参加をお待ちしています。

また、来年4月にはプロフェディア市との姉妹都市縁組20周年を迎えます。ユニークな交流アイデアや同市の思い出等、御意見や情報があれば、御遠慮なく事務局までお知らせください。